

経営改善計画 改革項目一覧

【団体名】前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立		R4 進捗	R5 進捗	R6 進捗	目標指標	数値目標					
						R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R6目標	R6実績
1	信頼される人づくり・組織づくりを強化します	○	○	○	職位別研修への参加	新入社員研修 中堅社員研修 新任管理者研修	参加人数及び参加率（対象者比率） 新入職員研修 2名（100%） 中堅職員研修 7名（88%） 新任管理者 13名（100%）	新入社員研修 中堅社員研修 新任管理者研修	参加人数及び参加率（対象者比率） 新入職員研修 2名（100%） 中堅職員研修 1名（25%） 新任管理者 2名（100%）	新入社員研修 中堅社員研修 新任管理者研修	参加人数及び参加率（対象者比率） 新入職員研修 2名（100%） 中堅職員研修 3名（100%） 新任管理者 0名（-%）
2	信頼される人づくり・組織づくりを強化します	△	△	○	【居宅介護支援】 【訪問介護】 【通所介護】 おおとも 【通所介護】 大胡 【通所介護】 越越 【通所介護】 通所A	稼働率90% 常勤換算50 一日平均16 一日平均14 一日平均13 一日平均8	稼働率89.9% 常勤換算46.5 一日平均11.7 一日平均14.4 一日平均6.3 一日平均4.8	稼働率90% 常勤換算50 一日平均16 一日平均14 一日平均13 一日平均8	稼働率89.9% 常勤換算47.9 一日平均10.4 一日平均14.0 閉所 一日平均6.3	稼働率90% 常勤換算50 一日平均16 一日平均14 一日平均13 一日平均8	稼働率87.6% 常勤換算52.7 一日平均8.7 一日平均13.2 閉所 閉所
3	危機管理体制を強化します	○	○	○	情報管理のリスク対策に関する職員研修または最新情報提供	年1回以上	研修会1回開催 118名参加	年1回以上	研修会1回開催（攻撃型メール訓練） 100名参加	年1回以上	研修会1回（攻撃型メール訓練）15名参加

2 自立性の高い財政運営の確保		R4 進捗	R5 進捗	R6 進捗	目標指標	数値目標					
						R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R6目標	R6実績
1	住民が支え合うまちづくりに必要な助成制度を確立します	○	○	○	善意銀行寄付額	150万円	157万円	180万円	274万円	210万円	268万円

3 事業の充実・利用者サービスの向上		R4 進捗	R5 進捗	R6 進捗	目標指標	数値目標					
						R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R6目標	R6実績
1	住民が支え合うまちづくりに必要な助成制度を確立します	○	○	○	サロンの実施件数（令和2年度270カ所） 見守り活動の実施件数（令和2年度51カ所）	275カ所 60カ所	サロン255カ所＋見守り86カ所	280カ所 80カ所	サロン287カ所＋見守り160カ所	285カ所 100カ所	サロン310カ所＋見守り168カ所
2	断らない相談支援を目指し、社協内の相談機能を強化します	○	○	○	あんしんサポートまえばし相談件数（令和2年度権利擁護関連相談件数85件） 自立相談センター相談支援件数（令和2年度実績3、853件）	対前年比 5%増 89件 対前年比 5%増 4,046件	あんしんサポートまえばし相談件数：99件（対前年比 16.5%増） 自立相談センター相談件数：4,144件（対前年比 7.6%増）	対前年比 5%増 93件 対前年比 5%増 4,245件	あんしんサポートまえばし相談件数：140件（対前年比41%増） 自立相談センター相談件数：4,126件（対前年比0.5%減）	対前年比 5%増 98件 対前年比 5%増 4,460件	あんしんサポートまえばし相談件数：176件（対前年比24%増） 自立相談センター相談件数：5,205件（対前年比26%増）
3	地域福祉の啓発や福祉教育を進めます	○	○	○	福祉教育実施時間数 災害ボラセン訓練・研修回数	275時間 2回	・福祉教育実施時間数124時間 ・災害ボラセン訓練・研修会数2回	290時間 3回	・福祉教育実施時間130時間 ・災害ボラセン訓練2回	300時間 4回	・福祉教育実施時間143時間 ・災害ボラセン訓練1回
4	利用者本位のサービス提供に努めます	○	△	△	アンケートにおける利用者満足度（総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合。令和3年度38%）	60%以上	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合＝44%	70%以上	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合＝40%	80%以上	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合＝32%
5	利用者本位のサービス提供に努めます	○	○	○	①事例検討 ②制度習得 ③介護技術向上 ④手順書見直し ⑤地域交流	①～⑤ 各1回以上実施	①1回 ②2回 ③10回 ④2回 ⑤0回	①～⑤ 各1回以上実施	①1回 ②4回 ③6回 ④1回 ⑤0回	①～⑤ 各1回以上実施	①3回 ②4回 ③5回 ④1回 ⑤0回
6	利用者本位のサービス提供に努めます	○	○	○	・体組成測定 ・体力測定 ・健康教室 ・健康相談 ・コグニサイズ ・一日教室	前年度1%増 ・年1,178人 ・年251人 ・年1,063人 ・年37,299人 ・年212人 ・年2,533人	・905人（23.2%減） ・253人（0.8%増） ・2,159人（103.1%増） ・45,399人（21.7%増） ・785人（270.2%増） ・3,156人（24.6%増）	前年度1%増 ・年1,190人 ・年254人 ・年1,074人 ・年37,672人 ・年214人 ・年2,558人	・646人（45.7%減） ・198人（22.0%減） ・2,497人（132.5%増） ・46,125人（22.4%増） ・1,057人（393.9%増） ・3,473人（35.8%増）	前年度1%増 ・年1,202人 ・年257人 ・年1,085人 ・年38,049人 ・年216人 ・年2,584人	・539人（55.1%減） ・106人（58.8%減） ・1,944人（79.2%増） ・50466人（32.6%増） ・885人（309.7%増） ・4,556人（76.3%増）
7	利用者本位のサービス提供に努めます	○	○	○	アンケート調査の実施 保護者向け研修会の実施	各1回以上	アンケート 研修会 各1回実施	各1回以上	アンケート 研修会 各1回実施	各1回以上	アンケート 研修会 各1回実施

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立

改革項目	信頼される人づくり・組織づくりを強化します	NO	1	
計画内容	地域住民から信頼され、ともに福祉のまちづくりが進められるよう、職員育成、組織体制を強化します。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	職位に応じた職員の能力向上	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	職場内及び職場外研修を利用し職員育成を行った。 また、管理職を対象に本会の人材育成理念の定着のための研修会の開催や職員の能力向上に向けキャリアパス（組織性・専門性）を作成した。			
R5 実施内容	職場内及び職場外研修を利用し職員育成を行った。 また、人事評価制度の見直しを行うとともに、業務遂行における目標管理の重要性や評価力の向上と平準化に向け、人事評価マニュアルを作成し管理職を対象に研修を行った。			
R6 実施内容	職場内及び職場外研修を利用し職員育成を行った。 また令和6年度よりキャリアパスに基づく人事評価制度の運用を開始した。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	職位別研修への参加	下記に参加 新入社員 中堅社員 新任管理者	下記に参加 新入社員 中堅社員 新任管理者	下記に参加 新入社員 中堅社員 新任管理者
指標実績		参加人数及び参加率（対象者比率） 新入職員研修 2名（100%） 中堅職員研修 7名（88%） 新任管理者 13名（100%）	参加人数及び参加率（対象者比率） 新入職員研修 2名（100%） 中堅職員研修 1名（25%） 新任管理者 2名（100%）	参加人数及び参加率（対象者比率） 新入職員研修 2名（100%） 中堅職員研修 3名（100%） 新任管理者 0名（-%）

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立

改革項目	信頼される人づくり・組織づくりを強化します	NO	2	
計画内容	介護事業が継続できるよう経営や組織基盤を強化し、信頼され安定した介護事業の運営を行います。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	介護事業の長期的視野に立った健全な運営	実施	実施	実施
進捗状況		△	△	○
R4 実施内容	居宅介護支援、訪問介護、大胡デイサービスでは数値目標を概ね達成した。経営不振の樋越デイサービスを令和4年度で閉所し、事業精査、経営改善に取り組んでいる。職員の人員に関して今後5年間を予測し、介護事業の組織、体制等の長期的方針を立てている。			
R5 実施内容	居宅介護支援、訪問介護、大胡デイサービスでは数値目標を概ね達成した。臨時介護職員の欠員により通所Aを令和5年度をもって閉所した。不採算事業、人員不足事業の事業整理を順次取り組み、介護事業の組織、体制等の見直しを図っている。中長期計画を立案する。			
R6 実施内容	訪問介護は数値目標を上回った。居宅介護と大胡デイサービスは職員数の減員により、数値目標は達成できなかった。R7年3月におおともデイ、R7年6月に大胡デイの廃止を決定し、不採算及び人員不足の事業整理を行い、介護事業の組織、体制の見直しに取り組んだ。R4・R5の実施内容に掲げた介護事業の中長期計画を策定した。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	【居宅介護支援】 【訪問介護】 【通所介護】 おおとも 【通所介護】 大胡 【通所介護】 樋越 【通所介護】 通所A	稼働率90% 常勤換算50 一日平均16 一日平均14 一日平均13 一日平均8	稼働率90% 常勤換算50 一日平均16 一日平均14 一日平均13 一日平均8	稼働率90% 常勤換算50 一日平均16 一日平均14 一日平均13 一日平均8
指標実績		稼働率89.9% 常勤換算46.5 一日平均11.7 一日平均14.4 一日平均6.3 一日平均4.8	稼働率89.6% 常勤換算47.9 一日平均10.4 一日平均14.0 閉所 一日平均6.3	稼働率87.6% 常勤換算52.7 一日平均8.7 一日平均13.2 閉所 閉所

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立

改革項目	危機管理体制を強化します	NO	3	
計画内容	組織を脅かすさまざまな危機への対応力を強化します。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	情報管理に関わるリスク対策の強化	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	日常業務でパソコンを使用する職員を対象に、インターネットやメール、データ管理を行う上でのリスクやその対策の必要性の知識習得を目的に情報セキュリティ研修を開催した。			
R5 実施内容	個人情報漏洩防止を図るため、フォルダへのアクセス制限の設定を行った。また、標的型攻撃メール訓練を行い、実施後にメール開封率や注意喚起を行い、セキュリティ対策に対しての意識向上を図った。			
R6 実施内容	標的型攻撃メール訓練を行い、実施後にメール開封率や注意喚起を行い、セキュリティ対策に対しての意識向上を図った。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	情報管理のリスク対策に関する職員研修または最新情報提供	年1回以上	年1回以上	年1回以上
指標実績		研修会1回開催 118名参加	研修会1回開催（攻撃型メール訓練） 100名参加	研修会1回（攻撃型メール訓練） 15名参加

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

2 自立性の高い財政運営の確保

改革項目	住民が支え合うまちづくりに必要な助成制度を確立します	NO	1	
計画内容	地域での多様な活動への助成制度を確立するため、財源確保に努めます。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	善意銀行の広報の充実 （ホームページ、社協だより等の活用）	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	寄付収支をホームページや広報誌にて報告し、受け入れや使途を明確にした。 寄付者の意向に合わせ配分を速やかに行い、不透明な余剰が発生しないようにした。			
R5 実施内容	地域福祉事業（8事業）へ271万円を配分し、地域活動に活用した。指定寄付については寄付者の意向通り配分を行った。 内容についてはホームページや広報誌に掲載し、紹介した。			
R6 実施内容	地域福祉事業（9事業）へ336万円を配分するとともに、地域活動に活用した。指定寄付については一部寄付者と受ける人たちを一同に会する場を作り、次につながるよう活用についての共通理解を行った。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	善意銀行寄付額	150万円	180万円	210万円
指標実績		157万円	274万円	268万円

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	住民が支え合うまちづくりに必要な助成制度を確立します	NO	1	
計画内容	まちづくり活動を進めるために、地域での多様な活動に対して助成できるような制度を確立し、住民主体の活動を支援します。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	住民主体の活動への助成事業の充実	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	サロンと見守りの一体的な取り組みを目的とした町社協関係助成事業を実施したことにより、地域における見守り活動の意識は向上した。また、R5年度町社協設立に向けて、地域福祉活動助成事業（サロン見守り活動助成/子育て・障害者サロン助成/町社協運営費助成）及び町社協運営補助事業の施行を検討し要綱を整備した。			
R5 実施内容	110の自治会に対して、町社協設立に伴う設立助成金と運営費を交付した。交流の場の新設、相談窓口としての機能、ICTを活用した広報など新たな活動が生まれており、町社協設立による一定の効果は見られた。			
R6 実施内容	町社協として町の活動も活発になってきたため、希望のあった76カ所に追加助成を行い、活動の充実を促進した。年度末には123の自治会に対し、設立助成金や運営費を交付した。多様な主体とのかかわりについても進め、活動の活性化を図っている。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	サロンの実施件数（令和2年度270カ所）	275カ所	280カ所	285カ所
	見守り活動の実施件数（令和2年度51カ所）	60カ所	80カ所	100カ所
指標実績		サロン255カ所＋見守り86カ所	サロン287カ所＋見守り160カ所	サロン310カ所＋見守り168カ所

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	断らない相談支援を目指し、社協内の相談機能を強化します	NO	2	
計画内容	社協内の相談窓口の連携などにより相談機能の強化を図り、頼られる社協を目指します。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	成年後見制度充実に向けた権利擁護体制の構築	実施	実施	実施
	生活困窮者への相談支援体制の強化	実施	実施	実施
	専門性を活かした相談窓口の連携	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	・「成年後見制度充実に向けた権利擁護体制の構築」⇒相談窓口である「あんしんサポートまえばし」（相談件数は下記のとおり）を設置し、研修会（市民向け講座、支援者向け研修会…初級、応用、実践）、出前講座（2回）を実施し、方針決定会議開催（6回開催11ケース検討）、関係機関との意見交換、先進地及び専門職に対しアンケート調査を実施した。 ・「生活困窮者への相談支援体制の強化」⇒相談窓口である「まえばし生活自立相談センター」（相談件数は下記のとおり）を設置し、引き続きコロナの影響など受け困窮している世帯へ食料支援、寮付きの仕事の案内、居住支援法人と連携した住居確保するなどの緊急支援を実施した。また特例貸付後の状況確認などフォローも実施した。			
R5 実施内容	・「成年後見制度充実に向けた権利擁護体制の構築」⇒相談窓口である「あんしんサポートまえばし」（相談件数は下記のとおり）を設置し、研修会（市民向け講座、支援者向け研修会…初級、応用、実践）を実施し、方針決定会議開催（6回開催9ケース検討）、プレ受任調整会議の開催、関係機関との意見交換、市民向けアンケート調査を実施した。 ・「生活困窮者への相談支援体制の強化」⇒R4年度に引き続き、住居確保給付金制度や就労支援、食料支援など状況に応じた支援を組み合わせる相談実施。また居住支援法人等関係機関と連携し、緊急を要する相談にも対応。特例貸付償還猶予者へのフォローも実施。			

R6 実施内容	・「成年後見制度充実に向けた権利擁護体制の構築」⇒相談窓口「あんしんサポートまえばし」（相談件数は下記のとおり）にて、支援者向け研修会（初級、応用、実践）、方針検討会議開催（6回開催7ケース検討）、関係機関との意見交換、アンケート調査を実施した。新たに、市民後見人の養成に取り組み、啓発セミナー（50人）及び講座（19人）をNPO法人との共催で実施した。 ・「生活困窮者への相談支援体制の強化」⇒住居支援や就労支援、食料支援、家計相談支援など状況に応じた支援を組み合わせ、特例貸付償還猶予者へのフォローを実施した。相談者の掘り起こしや就労支援等において、関係機関及び企業等の協力先の開拓及び強化を目的にアウトリーチ事業を展開している。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	あんしんサポートまえばし相談件数（令和2年度権利擁護関連相談件数85件）	対前年比 5%増 89件	対前年比 5%増 93件	対前年比 5%増 98件
	自立相談センター相談支援件数（令和2年度実績3, 853件）	対前年比 5%増 4, 046件	対前年比 5%増 4, 248件	対前年比 5%増 4, 460件
指標実績		あんしんサポートまえばし相談件数：99件（対前年比 16.5%増） 自立相談センター相談件数：4, 144件（対前年比 7.6%増）	あんしんサポートまえばし相談件数：140件（対前年比41%増） 自立相談センター相談件数：4, 126件（対前年比0.5%減）	あんしんサポートまえばし相談件数：176件（対前年比24%増） 自立相談センター相談件数：5, 205件（対前年比26%増）

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	地域福祉の啓発や福祉教育を進めます	NO	3	
計画内容	学校や企業、住民など、多様な対象に合わせた福祉教育や研修会を提供できる体制を整え、地域福祉について知ってもらう機会を増やします。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	市民向けの研修会及び広報活動の充実	実施	実施	実施
	地域を基盤とした福祉教育の推進	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	・「市民向けの研修会及び広報活動の充実」⇒ホームページ、SNSを通じてボランティア募集情報等をタイムリーに発信した。市内の子ども食堂の活動を周知するために「コドモノイバシヨ集会所」を2回開催した。 ・「地域を基盤とした福祉教育の推進」⇒小学校29校、中学校3校、大学3校、関係機関等5件の合計40件、124時間の福祉教育を実施した。 ・「災害ボラセン訓練・研修」⇒9/29にニーズ受付訓練を職員間で実施した。また前橋青年会議所の支援のもと2/21にICTを生かしたボランティア受付訓練を実施した。			
R5 実施内容	・「市民向けの研修会及び広報活動の充実」⇒市民サービス向上のための福祉人材育成を目的としたボランティアビギナーズスクールを開催し69名が受講した。 ・「地域を基盤とした福祉教育の推進」⇒小学校27校、中学校2校、大学3校、関係機関等12件の合計44件、130時間の福祉教育を実施した。 ・「災害ボラセン訓練・研修」⇒ICTを取り入れてのマニュアルを整備。前橋青年会議所と『災害時における協力体制に関する協定』を令和5年12月4日に締結。			

R6 実施内容		・「市民向けの研修会及び広報活動の充実」⇒ボランティアビギナーズスクールを開催し47名が受講した。また、合理的配慮の意識向上を目的とし、障害の有無にかかわらず参加・交流ができるイベントを前橋中心商店街で開催した。 ・「地域を基盤とした福祉教育の推進」⇒小学校58校、中学校5校、高校1校、大学・専門学校4校、関係機関等10件の合計78件、143時間の福祉教育を実施した。 ・「災害ボラセン訓練・研修」⇒状況に合わせた開設場所での設置を念頭に、テントの設営から受付までの流れの確認、土嚢袋の縛り方などの演習を行った。県内中部地区資機材プラットフォーム連絡会において、共有資機材の確認、搬出準備を行った。		
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	福祉教育実施時間数	275	290	300
	災害ボラセン訓練・研修回数	2	3	4
指標実績		・福祉教育実施時間数124時間 ・災害ボラセン訓練・研修会数2回	・福祉教育実施時間130時間 ・災害ボラセン訓練2回	・福祉教育実施時間143時間 ・災害ボラセン訓練1回

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	利用者本位のサービス提供に努めます	NO	4	
計画内容	放課後児童クラブにおいて、利用者のニーズを踏まえ利用者の立場に立ったサービスを提供し、持続可能な運営を目指します。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	接遇力の向上	実施	実施	実施
進捗状況		○	△	△
R4 実施内容	・ 5/24に救急救命講習、7/26に接遇研修を実施した。（職員全員が参加） ・ コロナ感染予防に徹し運営をした。クラブ内での感染は、なし。 ・ 夏休みにお盆週を除く12回昼食提供を実施し、好評を得た。 ・ 保護者あてのアンケートを継続して実施し、意見、要望への対策を含め、保護者あてに回答した。総合・全体的な大変満足度は44％、満足度は49％でした。			
R5 実施内容	・ 7/13に救急救命講習、9/28に虐待防止・食物アレルギー研修、12/12に接遇研修を実施した。（職員全員が参加） ・ 夏休みにお盆週を除く12回昼食提供を実施し、好評を得た。 ・ 保護者あてのアンケートを継続して実施し、意見、要望への対策を含め、保護者あてに回答した。総合・全体的な大変満足度は40％、満足度は51％でした。			
R6 実施内容	・ 年間3回の研修は毎年実施。3か月ごとにコンプライアンス自己点検チェックと虐待防止セルフチェックを行い、自身の行動の振り返りをした。 ・ 保護者あてのアンケートは、大変満足は32％、満足は61％			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	アンケートにおける利用者満足度（総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合。令和3年度38％）	60％以上	70％以上	80％以上
指標実績		総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合＝44％	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合＝40％	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合＝32％

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	利用者本位のサービス提供に努めます	NO	5	
計画内容	利用者や地域住民から信頼される職員となるため、十分な専門知識を有するための研鑽に励み、誠実ある行動を行います。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	介護事業における対人援助力及び介護技術力の向上	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	虐待防止対応研修では「アンガーマネジメント」、事業継続研修では「危険予知訓練（KYT）」「感染予防（訪問介護）」を実施した。その他「介護リフト体験」「腰痛予防」「デイサービスにおける筋力維持」「調理実習・低栄養・フレイル」等、利用者支援の課題をもとに多様なテーマで研修を企画・実施した。			
R5 実施内容	救急救命講習を再開した。虐待防止・身体拘束適正化では「認知症の理解」を実施し、介護技術向上では近隣事業所のリハ職を招聘し「移乗」の実技研修を行った。その他「チームケア」「文字盤」「AI歩行解析」「気分障害」等、利用者支援の課題をもとに研修テーマを決め、企画、外部研修への参加をしている。			
R6 実施内容	居宅介護は「事例検討」、訪問介護と通所介護は「介護技術」を中心に実施した。事例検討は、法人の他職種と、事業所内の同職種と、他の事業所と、行う。介護技術は近隣事業所のリハ職を招聘し、入浴介助と移乗介助の実演を行った。このほかに「発達障害」「アンガーマネジメント」等、対人援助の研修を行った。			
目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	①事例検討 ②制度習得 ③介護技術向上 ④手順書見直し ⑤地域交流	①～⑤ 各1回以上 実施	①～⑤ 各1回以上 実施	①～⑤ 各1回以上 実施
指標実績		①1回 ②2回 ③10回 ④2回 ⑤0回	①1回 ②4回 ③6回 ④1回 ⑤0回	①3回 ②4回 ③5回 ④1回 ⑤0回

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	利用者本位のサービス提供に努めます	NO	6	
計画内容	高齢者が主体的に健康増進や介護予防に取り組むための場として、気軽に取り組める体制を整え、重要性を広く周知し、介護予防・フレイル予防の拠点としての役割を果たします。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	各種測定会の充実	実施	実施	実施
	介護予防、フレイル予防の推進及び健康相談の強化	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	・健康測定・相談会を開催し、保健師、看護師、健康運動指導士が参加者の測定結果に対して助言を行い、健康相談の強化に努めた。 ・健康運動指導士、理学療法士の専門職による教室を定期的で開催し、利用者の生きがいがづくり、介護予防、健康増進に繋がった。			
R5 実施内容	・R5年度も健康測定・相談会を引き続き行う。加えて歩行の測定により健康状態などを測定する歩行測定会を開催し、市、介護予防サポーターと連携して測定や健康相談を行った。 ・健康運動指導士等の専門職による「脳トレ&健康体操」のDVDを作成し、サロンの担い手研修を開催。利用者をはじめ広く市民に活用できるようDVDの貸出を行い、地域の介護予防の拠点としての役割に努めた。 ・介護予防遊具を導入しての介護予防推進 ・児童クラブと協働した夏休み世代間交流によるフレイル予防			
R6 実施内容	・市、介護予防サポーターと連携して、歩行測定会/フレイルチェックを開催した。 ・企業による認知機能改善目的の脳トレ、健康増進を意図した教室開催に協力し、企業や専門職との連携を強化した。 ・地域の介護予防の拠点として、幅広い年代の方に利用していただけるよう、愛称を募集し「来た人が笑顔になれる、職員が笑顔でおもてなしする」という意味を込めて愛称【にこっと】に決定した。広報活動に積極的に取り組み、新規利用者の集客に繋がった。			

目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	・ 体組成測定 ・ 体力測定 ・ 健康教室 ・ 健康相談 ・ コグニサイズ ・ 一日教室	前年度 1 %増 ・ 年 1,178人 ・ 年 251人 ・ 年 1,063人 ・ 年37,299人 ・ 年 212人 ・ 年 2,533人	前年度 1 %増 ・ 年 1,190人 ・ 年 254人 ・ 年 1,074人 ・ 年37,672人 ・ 年 214人 ・ 年 2,558人	前年度 1 %増 ・ 年 1,202人 ・ 年 257人 ・ 年 1,085人 ・ 年38,049人 ・ 年 216人 ・ 年 2,584人
指標実績		・ 905人 (23.2%減) ・ 253人 (0.8%増) ・ 2,159人 (103.1%増) ・ 45,399人 (21.7%増) ・ 785人 (270.2%増) ・ 3,156人 (24.6%増)	・ 646人 (45.7%減) ・ 198人 (22.0%減) ・ 2,497人 (132.5%増) ・ 46,125人 (22.4%増) ・ 1,057人 (393.9%増) ・ 3,473人 (35.8%増)	・ 539人 (55.1%減) ・ 106人 (58.8%減) ・ 1,944人 (79.2%増) ・ 50466人 (32.6%増) ・ 885人 (309.7%増) ・ 4,556人 (76.3%増)

経営改善計画

【団体名】前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	利用者本位のサービスに努めます	NO	7	
計画内容	利用者ニーズを踏まえ利用者の立場に立ったサービスを提供します。			
計画年度		R4年度	R5年度	R6年度
実施項目	利用者の重度化・高齢化・多様化への対応	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R4 実施内容	・ 保護者向けに他サービス情報提供と利用支援を行い利用に繋がった。 ・ 意思決定支援研修に参加し、内容を管理職へ周知徹底し利用者中心の支援に活用した。 ・ 職員行動規範および施設運営方針の徹底を定期的に行い、虐待防止や不適切な支援を防止をした。			
R5 実施内容	・ 保護者向けに他サービス情報提供を行うとともに、相談支援事業者との契約に繋げ、支援区分の取得と他サービスの利用を進めた。 ・ 意思決定支援研修に参加し、内容を職員へ周知徹底し利用者中心の支援に活用した。 ・ 職員行動規範および施設運営方針の徹底を定期的に行い、虐待防止や不適切な支援を防止をした。			
R6 実施内容	(利用者の満足度向上) ・ 保護者面談、保護者向けアンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めた。 ・ 外部講師を招き、絵画教室、書道教室、陶芸教室を実施し、利用者の余暇活動の充実を図った。 (職員の資質向上) ・ 管理者による虐待防止委員会、感染症対策委員会、身体拘束適正化委員会を開催し、全体研修として障害者虐待防止研修を開催した。 (地域住民及び関係機関との連携・協働) ・ 前橋市CCRC構想のもと、ココルンサークルまえばしと協働し、4月と11月のイベントへ参加した。 ・ 市主催ソーシャルグッズプロジェクトとインクルーシブスポーツフェスタへ参加した。			

目標年度		R4年度	R5年度	R6年度
目標指標と数値目標	アンケート調査の実施 保護者向け研修会の実施	各1回以上	各1回以上	各1回以上
指標実績		アンケート 研修会 各 1 回実施	アンケート 研修会 各1回実施	アンケート 研修会 各1回実施